

八雲町CS連協だより

第9号

発行日:令和5年10月20日
発行元:八雲町コミュニティ・
スクール推進グループ

八雲町教育委員会では、平成30年度から町内すべての小学校、中学校に「小中一貫型コミュニティ・スクール」を導入しました。

私たち八雲町コミュニティ・スクール連絡協議会では、町内の各家庭、地域の皆さんへ、八雲町におけるコミュニティ・スクールの取組をご紹介します。「八雲町CS連協だより」を作成しています。



▲八雲町CSについて
(八雲町HP)

コミュニティ・スクールしーえす(通称:CS)

今年で導入**6年目**に
入りました!

コミュニティ・スクールとは、**保護者や地域住民などから構成される学校運営協議会**制度を導入した学校のこと。**学校や保護者・地域の皆さんが共に知恵を出し合い、協働しながら子どもたちの豊かな成長を支えていくと同時に、地域コミュニティの活性化**にもつながる取組です。



令和5年度 第1回 八雲町コミュニティ・スクール連絡協議会



を開催しました

日時:令和5年6月20日(火)18時00分～19時00分

場所:八雲町公民館

出席者:各中学校区CS委員長・会長、事務局校校長
教育委員会教育長、各関係課長、CS推進グループ

内容:【説明】令和5年度コミュニティ・スクール連絡協議会実施計画
【報告】各中学校区コミュニティ・スクールの令和4年度事業報告
【協議・交流】各中学校区コミュニティ・スクールの課題解決、今年度の活動について



出席された
方からの意見



新型コロナウイルス感染症が5類に移行!
活動見合わせを余儀なくされていた取組も再開できそう...?

「これでまた学校と関わることができる!」と、
地域からは**期待の声**が寄せられています。

うちの校区でも
同じ意見が出てた!



うちの校区では、「子どもたちには**この地域なら
では**の体験をたくさんさせてあげたいよね」
という話が出ていましたよ。

子どもたちが
このまちに
愛着と誇りを
持つことにもつながるよね!

持続可能な取組とするために



「CSの取組は**地域できちんと引継ぎ**しているから、
学校の先生が異動しても**活動は途切れ**ないよ。」
とってもらえて、とても安心しました。

まさに
地域ぐるみの子育て。
頼もしい!



八雲町では…町内4つの中学校区を基盤にして 小中一貫型コミュニティ・スクール が導入されています。

各中学校区においては、学校、保護者、地域が一体となって「**目指す15歳（中学3年生）の子どもたちの姿**」を共有し、各地域ならではの学習素材や地域人材を取り入れた取組を実施しているほか、小中学校で統一した学習・生活のきまりを定めるなど、様々な活動が行われています。

あなたの地域は？



町内4中学校区での取組状況(一部抜粋)

八雲中学校区

(八雲中・八雲小・浜松小)

【目指す15歳の子どもたちの姿】

郷土を愛し、未来を築く人間

【学校運営協議会から】

- 新しい委員が加わったため、改めて学校運営協議会の仕組みや地域学校協働活動の意義について皆さんで学ぶ機会を設けました。
- 「子どもたちのどんな育ちを願うのか」をテーマに、保護者や地域住民、教職員が語り合う場を開きました。このような「熟議」を充実させていきたいと考えています。



野田生中学校区

(野田生中・東野小・野田生小・山越小)

【目指す15歳の子どもたちの姿】

自ら考え、自他を認め、

思いやりと強くたくましい体をもつ若者

【学校運営協議会から】

- 昨年度は熟議での声も反映し、芋掘り体験や搾乳見学など、野田生ならではの体験活動を地域の協力を得ながら充実させることができました。
- 今年は小学校と中学校が連携して同じ活動に取り組んだり、小規模ならではの地域課題をCSの仕組みを使って解決していけないか、という声も寄せられています。



落部中学校区

(落部中・落部小)

【目指す15歳の子どもたちの姿】

豊かな人間性と広い視野をもち、
ふるさとに愛情と誇りをもつ人

【学校運営協議会から】

昨年度の熟議でも「ふるさと落部に愛着と誇りを持つ子に」という願いが出されており、地域の教育資源を学校教育の中に積極的に取り込んでいく予定です。その先行実施として、落部中学校では地元漁協と連携したふるさと学習に力をいれています。



次のページで
特集します！



熊石中学校区

(熊石中・熊石小)

【目指す15歳の子どもたちの姿】

自ら学びを広げる賢い生徒

自他を尊重し未来を拓く明るい生徒

活力あふれる心身共にたくましい生徒

【学校運営協議会から】

今年も小学校と中学校の教職員による合同研修会を継続することで「中1ギャップ」の解消に繋がるよう発展させていきます。「熊石に花をプロジェクト」・「ふるさと熊石講習会」といった地域とのつながりを持った活動を継続し、小中合同で行う活動も模索していきます。



チーム落部・オール落部で育てる 落部の子どもたち 落部中学校・総合的な学習の時間



「ふるさと学習」の取組



落部中学校では、総合的な学習の時間におけるふるさと学習を位置づけ、今年は今学年で漁業を中心とした学習を展開してきました。

活動の様子

先生は、落部の海に日夜関わっている地域の皆さん！
様々な角度から「落部の漁業」について教えていただきました。



5月17日(水) 漁船乗船体験・ホタテ浮遊幼生の観察(1年生)

落部漁業協同組合の協力のもと、渡島北部地区水産技術普及指導所からホタテの一生についてなどのホタテに関する説明を聴講しました。

生徒は港に停泊中の漁船にも乗り、採取したホタテの浮遊幼生を双眼実態顕微鏡で観察する体験を行いました。

私たちにとってホタテはもともと身近なものだったけど、説明や体験活動を通して新たに知ることもたくさんありました。



6月 8日(木) ホタテ養殖についての講話(1・3年生)

落部漁業協同組合に講師を依頼し、落部漁港の歴史やホタテの養殖の歴史、ホタテの水揚げ状況など、ホタテについての講話を聴講しました。

落部は道南でも水揚げ量が多い地区なんだって！



6月13日(火) ウニ養殖についての講話(2・3年生)

北海道大学水産学部大学院生を講師に迎え、ウニの養殖についての講話を聴講しました。落部地区では海の磯焼け問題のためにウニを駆除していること、駆除したウニに配合飼料を与え、やせウニから高品質なウニに育てていることを学びました。



7月 3日(月) ウニの養殖、藻場の再生に向けた取組の学習(2年生)

前回の学びを引継ぎ、落部漁業協同組合と株式会社チェリーパイの皆さんから、藻場再生のためのドローン調査について説明を受けました。コンブをはじめとした海藻の減少が深刻化しており、こうした場所を住处とするウニの成長にも影響が。水中ドローンの操作も体験しました。



9月3日(日) 東京・浅草における落部 PR 活動(3年生)

ふるさと学習の集大成として、3年生は東京での見学旅行に合わせ、浅草にある宿泊先ホテル前で落部の PR 活動に取り組みました。①落部漁協提供のホタテ貝柱の干物、②八雲町提供のパンフレット、③生徒が作成した落部紹介チラシ、の3点セットを通行人の皆さんに渡し、これまでの学習で地域の皆さんから学んできたことを元に、自分の言葉で落部の魅力を PR しました。

僕たちの町 八雲町落部

僕たちの町落部はホタテ漁が盛んです。年間約1,200トンの水揚げがあります。落部では貝吊りという養殖方法でホタテを養殖しています。右の写真のように目に穴を開けたピンにホタテを差し込んで吊ります。約2～3年吊るし商品になります。



2～3年吊るしたあとは左の写真のように色々な製品変わります。ホイルホタテやホタテの缶詰、などがあります。他にも八雲町のふるさと特産品では秋の産物に、乳製品、飲料、加工品、調味料、米、ホタテの貝殻から作った入浴剤など幅広くあるのでぜひ検索してみてください！！

八雲町ふるさと納税サイトのQRコードです！！

▲浅草で配布された生徒作成の落部 PR チラシ(一例)

生徒の学習成果は学校ホームページからもご覧いただけます！

3年生がこれまでの学びを生かして作成した落部 PR チラシ(左図)では、海産資源に恵まれた落部の特徴を的確に説明し、写真や地図も盛り込んで分かりやすく落部の魅力を伝えていきます。また、配布物を受け取った方からのアンケートには、「地域 PR という課題を持って準備、実行する試みが素晴らしい。」「笑顔いっぱい声をかけてくれて嬉しかった。八雲町の未来が明るく照らされているよう。」と励ましの声もたくさんいただいたようです。落部中学校のホームページからぜひご覧ください。



▲落部中学校ホームページ



Report



町内で実施された、地域と学校が協働した活動について、その一部をご紹介します。ご協力いただいた地域の皆さん、ありがとうございました！



また学校で会える日を
楽しみにしています！

コロナ禍での地域交流（浜松小学校）

やすらぎの里・厚生園との交流を続けている浜松小学校。コロナ禍でも学校や子どもたちの様子を見ていただくこと、写真や手紙で知らせています。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたとはいえ、高齢の方や基礎疾患のある方はまだまだ注意が必要。今年は運動会の様子を模造紙にまとめ、入所者の皆さんに見ていただきました。



大迫力の工事現場！

新幹線トンネル工事見学学習

（野田生中学校区内の3小学校で合同実施）

鉄道・運輸機構北海道新幹線建設局八雲鉄道建設所の協力により、新幹線のトンネル工事を見学しました。

トンネルの作り方や排水を綺麗に処理する方法など、初めて見る光景に子どもたちも興味津々！新駅開業で八雲のまちがどう変わっていくのか、注目です！



収穫が楽しみ♪

サツマイモづくり（落部小学校）

地域の方の畑をお借りして支援学級の児童がサツマイモを育てています。



今年もサツマイモづくりに挑戦！6月に苗植えを実施してから、大切にお世話が続けてきました。秋の収穫の成果は果たして…！？



白熱した試合展開には
大きな歓声が！

モルック体験（熊石中学校）

来年には函館で世界大会も開かれる、北欧発祥のスポーツ「モルック」。八雲町体育課職員・地域おこし協力隊から全校生徒が教わりました。

このように、体育課ではモルックの道具貸出、協力隊でも出前指導を実施しているそうです。地域の方もぜひ活用ください！



バックナンバー

「八雲町CS連協だより」のバックナンバーは、八雲町ホームページからご覧いただけます。

【発行元】八雲町コミュニティ・スクール推進グループ（八雲町教育委員会内）
〒049-3112 八雲町末広町154番地 ☎0137-63-3131

八雲町 CS連協だより

